

森の植物や鳥・虫などの動物を紹介します

園内の水辺の植物をみてみましょう。水路には浚渫後たくさんのヒメビシ（ヒシ科）が復活しました。一年生の水草で泥の中に根を張り、葉は水に浮いています。7～10月、径1cm程の白花を咲かせます。果実はトゲのあるやや平らな倒三角形の核果で食用になります。この森では、ヒシでなくヒメビシのようです。



ヒメビシ



実

水路やふれあい池には、セリ(セリ科)の花が満開です。春の七草の一つですが食用とされ栽培もされています。葉をちぎって香りをかいてみましょう。また、ガマの仲間のヒメガマ(ガマ科)が穂をつけました。ソーセージ状の雌花穂には、10万～20万の種がつまっているようです。

セリの花



ヒメガマ



コウホネ



花

ふれあい池では、コウホネ(スイレン科)が可憐な径5cm程の黄色い花を咲かせました。多年生の水草で、根茎は白色。葉は根茎の先端から出て緑色の葉柄があり、水上に抜き出しています。和名は河骨で、河に生え、根茎が白骨を思わせることによる。



カンガレイ



実と茎

多年草のカンガレイ(カヤツリグサ科)は、茎の断面が三角形で、8～10月に金平糖のような花穂をつけます。同じカヤツリグサ科のマツカサスキは大型 マツカサスキで、花は散らばっています。



ふれあい池には、畳表の原料となるイ(イグサ科)も生えています。植物名としては、もちろん一番短い名前です。また、1～2mとひとときわ高いフトイ(カヤツリグサ科)の群落もあります。茎の断面は円形で名前のおり太く、茎の先に茶色い小穂をたくさんつけています。

フトイ



茎



困った外来種が見つかりました。ウォーター・マッシュルーム(外来種ドメグサ群)(セリ科)といい、つどいのゾーンの湿地に生えています。ウォーターヒヤシンス(ホテイアオイ)やウォーターレタス(ボタンウキクサ)同様、拡げないようにしましょう。



ウォーター・マッシュルーム

ウオー



アカツメクサ

野原に目を向けると、アカツメクサ(マメ科)が20～60cmの高さで生えています。レッド・クローバーとも呼ばれ、赤紫色の球形の花序が目立ちます。

秋の七草の一つ、カワラナデシコ(ナデシコ科)がふれあいゾーンで咲いています。和名は撫子の意味で、かれんな花の様子に基づいています。カワラナデシコ



ノカンゾウ

ノカンゾウ(ユリ科)がふれあいゾーンで咲いています。一重の黄赤色のラッパ状花で、下から順に花を咲かせます。若葉は食用になります。

ヤブカンゾウ(ユリ科)は、ノカンゾウよりやや全体に大型で、雄しべが全部または一部が弁化して八重咲きになっています。

ヤブカンゾウ



園路や駐車場のそばに、葉をびっしりとつけた枝が樹木のように見えるメドハギ（マメ科）が生えています。60cmから1mにもなり、夏から秋にかけて白いマメの花（蝶形花）を咲かせます。小さな葉っぱを引っ張って切ると、ヤハズソウのように、矢筈の形に切れます。



メドハギ

園内のいたるところにやっかい者のヌスビトハギ（マメ科）が生えてきました。花はハギにそっくりですが、和名は盗人萩で、盗人の忍び足の足あとに半月形の豆果が似ているからともいわれています。これから花が咲き、やっかいな実ができます。



ヌスビトハギ



ミヤコグサ



押し花にしてみました

駐車場のそばで、草刈りのあとにミヤコグサ（マメ科）が生えていました。葉は互生、柄のある3出複葉で、小葉は長さ1cmほどの倒卵形です。4～10月、葉のわきから花柄を出し、幾つかの鮮黄色の花をつけます。和名は都草。都（京都）に多かったかはわかりませんが、しおり用の押し花を作ってみました。



ヤハズソウ
(矢筈の形に切れます)



園内の芝地には、クローバーが一番多いですが、ヤハズソウ（マメ科）もたくさん生えています。葉をちぎると矢筈状（写真右上部）になりました。矢の矢じり（矢の先）の反対側でつる（弦）に引っかける部分を矢筈といいます。語源はちぎれた葉が矢筈に似ているからでしょう。

ヒメジョオン（キク科）は北アメリカ原産の1～2年草で明治初年に渡来し、今では全国的にごく普通に見られる雑草です。この森のいたるところに生えています。6～10月に白色または淡紫色の頭状花が一面に咲いたところは壮観です。一輪一輪を見るとキク科の花ですのできれいなものです。



ヒメジョオン



残りは木の話です。リョウブ（リョウブ科）は山地の尾根筋などによく自生する落葉小高木で、園内に900本ほど植えましたが、これは、苗木からでなく、ふれあいゾーンの公園樹です。やや終わりがけの白花に蜜を吸う虫たちがいっぱい群がっていました。



リョウブの花



リョウブ



スダジイのどんぐり

園内のブナ科の植物は15种植えられています。スダジイ（ブナ科）のどんぐりもこの位になりました。

クリ（ブナ科）の実実は5cmほど。これは、ナラガシワ（ブナ科）の実です。現在、この大きさになりました。

ナラガシワ



秋の七草、ハギ（マメ科）もあちこちで満開です

